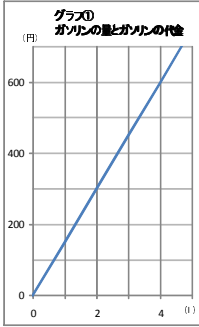
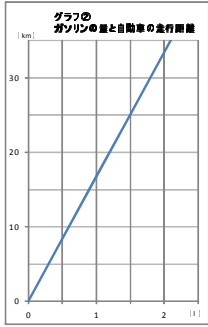


言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (庄原市立口和中学校)

- ① 教科等 数学科 ② 学年 第1学年
- ③ 単元名 比例と反比例
- ④ 本時の目標 2つのグラフを関連付けて数量の関係を考え、比例関係であることを根拠に、課題を解決することができる。
- ⑤ 学習の流れ (9時間目/全20時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
<p>1 本時の課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">2つのグラフを関連付けて、課題を解決することができる。</div> <p>次のグラフ①は、ガソリンの量とガソリンの代金の関係を表したものです。また、グラフ②はガソリンの量とT先生の自動車の走行距離の関係を表したものです。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>T先生は口和中学校からできるだけ遠くまでドライブに行きたいと考えています。T先生が使えるガソリン代は900円です。最大でどこまで行くことができるのか決定して、その理由を説明してあげましょう。</p> <p>ア ビッグアーチ競技場 (85km) イ マツダズームズームスタジアム (95km) ウ 宮島 (105km)</p> </div>	<p>指導上の留意事項</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	<p>評価規準〔観点〕 (評価方法)</p>
<p>2 課題解決に向けて思考を深める。</p> <p><個人思考></p> <p><グループ思考></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 個人の考えを出し合い、グループで共有する。 <ul style="list-style-type: none"> ・個人の考えを交流しよう。 ・どこまで行くことができるか決定しよう。 ・判断した理由について“比例”をキーワードに分かりやすい説明を考えよう。 ○ グループの考えを発表する。 <p><全体交流></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・考えをグラフに書き込んだり、表や式に表したりして考えさせる。 ・自分のノートを使って考察した内容をグループで交流させる。 ・結論にまで至っていなくても、できているところまでや、なぜ行き詰っているのかななどを説明させる。 ・各グループの解決方法を、グラフや表などを指し示しながら説明させる。 <p>【説明の例】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>まずグラフ①から、ガソリンの代金はガソリンの量に比例していることがわかります。2Lで300円なので、900円では6L入ります。次にグラフ②から、走行距離もガソリンの量に比例していることがわかります。・・・だから、・・・</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・比例のグラフを用いて、様々な情報を読み取り、考察することができる。 〔数学的な見方や考え方〕(行動観察・ノート)
<p>3 本時の学習を振り返る。</p>		

〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

- グラフから読み取れる情報をもとに、判断の理由を根拠を明らかにして筋道を立てて説明することができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 判断した理由について“比例”をキーワードに分かりやすい説明を考えさせる。
- グラフや表などを指し示しながら説明させる。